

# ジェイアールバス東北本部

第7号

2023年11月7日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内

NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983

発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

## 申3号「2023年度年末手当に関する申し入れ」について趣旨説明を行う！

ジェイアールバス東北本部は11月6日、申3号「2023年度年末手当に関する申し入れ」について趣旨説明を行いました。主な議論経過は以下の通りです。

### 【組合】

- ・コロナ禍からの行動制限が緩和され人流が回復し、インバウンドのお客さまが戻ってきたことも重なり、乗車人員の増加傾向から2年連続の黒字経営が期待される。
- ・組合員・社員の労働実感は要員不足の解消に見通しが立たない状況の中で休日出勤が多く発生し、体力的な疲労はコロナ以前よりも増大しており疲弊感が増している。
- ・23春闘で2500円のベースアップが実施されたものの、昨今の物価上昇に追いついておらず生活水準が向上していない。家族にも負担を強いている。
- ・人材を確保・定着させ、乗務員不足解消のためにも更なる賃金の引き上げが必要であり、コロナ禍に多くの退職者を出すきっかけとなった支給率を、バス東北で働く組合員・社員の誰もが納得できる2.45ヶ月に早く戻さなければならない。
- ・コロナ禍での年収減や厳しい要員状況の中でも耐え続け、会社経営を支えてきた組合員・社員の苦勞に報い、この会社において良かったと思えるよう、そして将来に希望を持てる明るい職場にするためにも満額回答を求める。

### 【会社】

- ・2023年度上期は好調であり、社員の皆さまの頑張りとの協力のおかげである。コロナが5類になり、行動制限緩和措置による人流が戻ってきたことや、台風など自然災害による運休措置が無かったことも幸いした。
- ・しかし、高速線の収入はコロナ前と比較して7割弱しか回復しておらず、会社全体の収入比率において5割だったのが4割に落ち込んでいる。
- ・コロナ前から人件費で2億、原価償却費で2億の経費削減となっている。しかし今年度は上期が好調だったとはいえ、これまで抑止していた車両の購入をしなければならない状況であり減価償却費が増加していくことを考えると厳しい状況である。
- ・貴側からの要求である2.45ヶ月プラス10万円は、コロナ前の収入に回復していない状況では大変難しいものがある。
- ・物価上昇に関して、社員と家族の生活については認識している。
- ・社員の皆さまには最大限還元したいと考えている。若い社員のことも考えている。2023年度新賃金や夏季手当でも最大限の支給をしてきた。持続的に会社が発展していくことを踏まえながら、これから社内において議論していく。

『深刻な要員不足の中、奮闘を続けている

組合員・社員に報いるために満額2.45ヶ月！』